

公共施設の有効利用に関する市民アンケート結果

I アンケート調査の概要

1. 目的

「はちのへ大型公共施設見える化シート」(令和5年1月作成)の掲載施設を対象として、施設利用に関する市民ニーズを把握し、各施設の有効利用に向けた具体的取組の検討において参考とするため、幅広く市民の意見等を集めるもの。

◇対象施設:①ブックセンター、②美術館、③はっち、④マチニワ、⑤YSアリーナ八戸、⑥是川縄文館、⑦図書館、⑧博物館 (総合的な行政機関である市庁舎と総合保健センターは除く)

2. 実施期間

令和5年6月15日(木)～7月7日(金)

3. 対象者

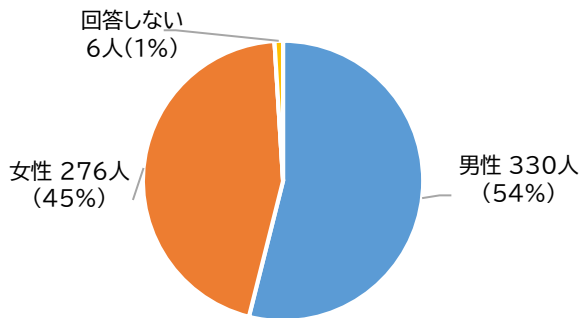
市内公共施設に関心のある18歳以上の方 (市政モニター114人を含む)

4. 回答者数

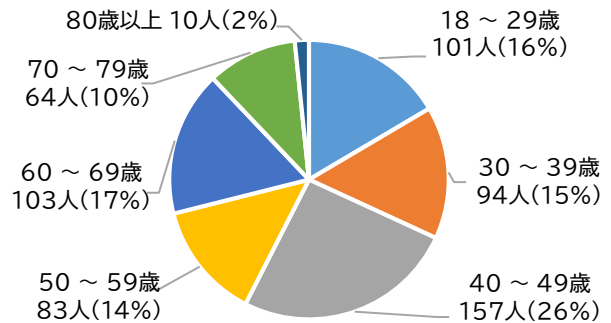
612人 (うち市政モニター96人)

II 回答者の属性

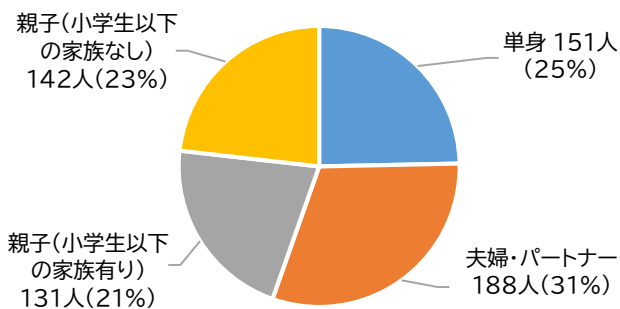
◆ 性別



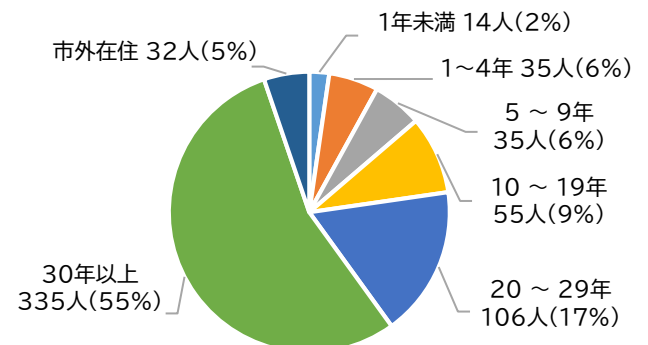
◆ 年齢



◆ 家族構成



◆ 居住年数



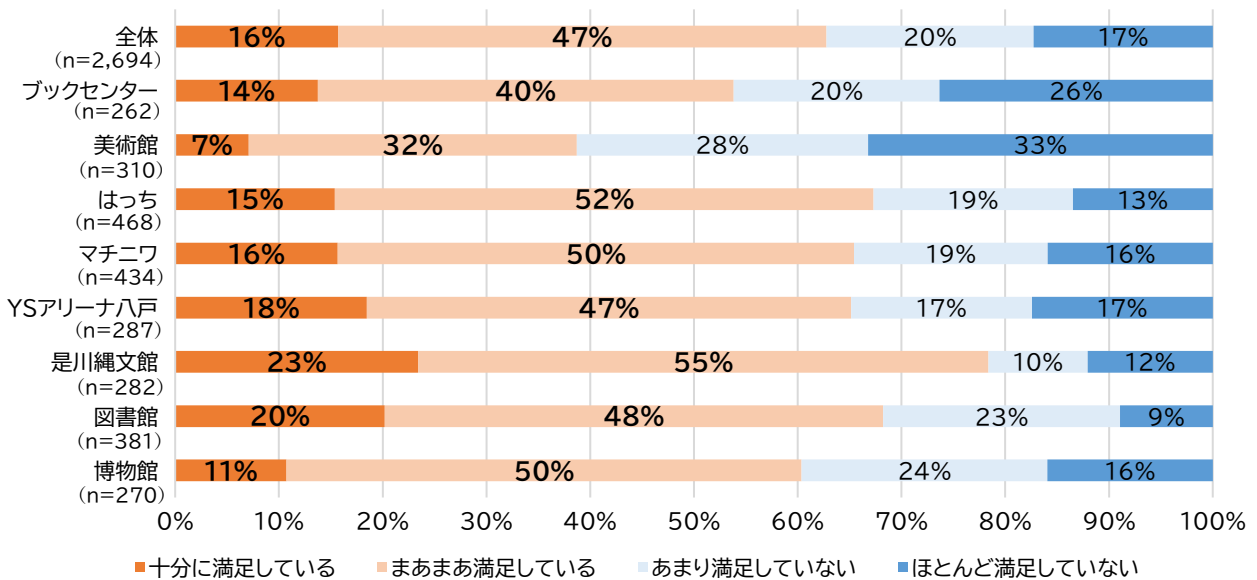
Ⅲ 調査結果

※比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第1位を四捨五入して算出。そのため、回答比率の合計が100%にならない場合がある。

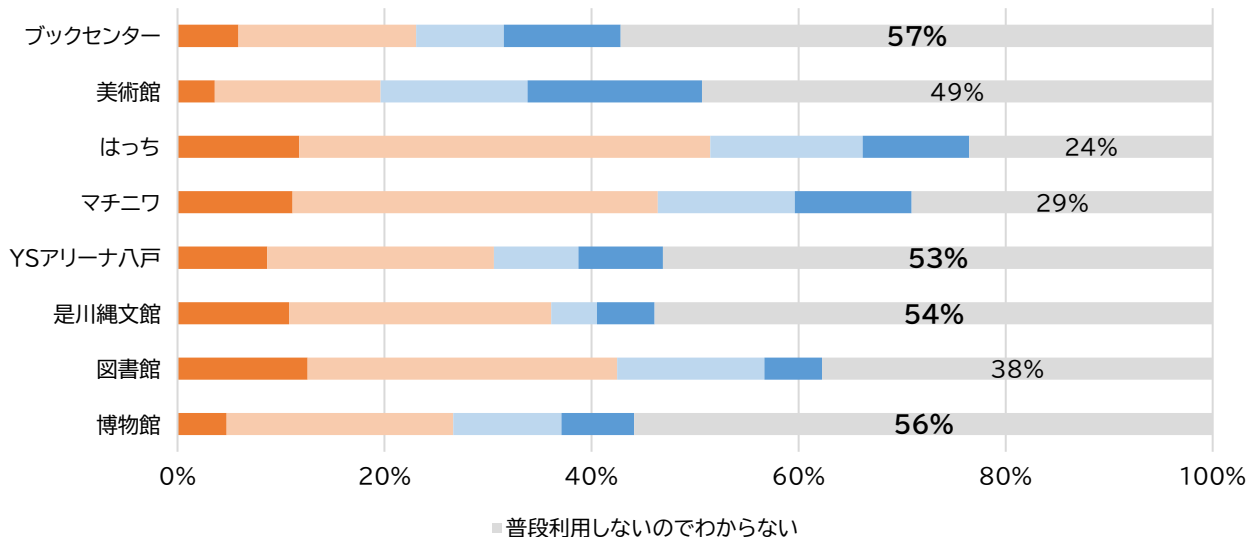
1. 公共施設のサービスや利用方法に対する満足度について

- 全体でみると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度の平均値は、63%となっている(「普段利用しないのでわからない」を除く)。
- 施設別にみると、是川縄文館(78%)が最も高く、次いで、図書館(68%)、はっち(67%)、マチニワ(66%)、YSアリーナ八戸(65%)となっている。
- 一方で、満足度に関する回答全数のうち、「普段利用しないのでわからない」の割合が5割を超える施設は、ブックセンター(57%)、博物館(56%)、是川縄文館(54%)、YSアリーナ八戸(53%)となっている。

公共施設の満足度 (「普段利用しないのでわからない」を除く)



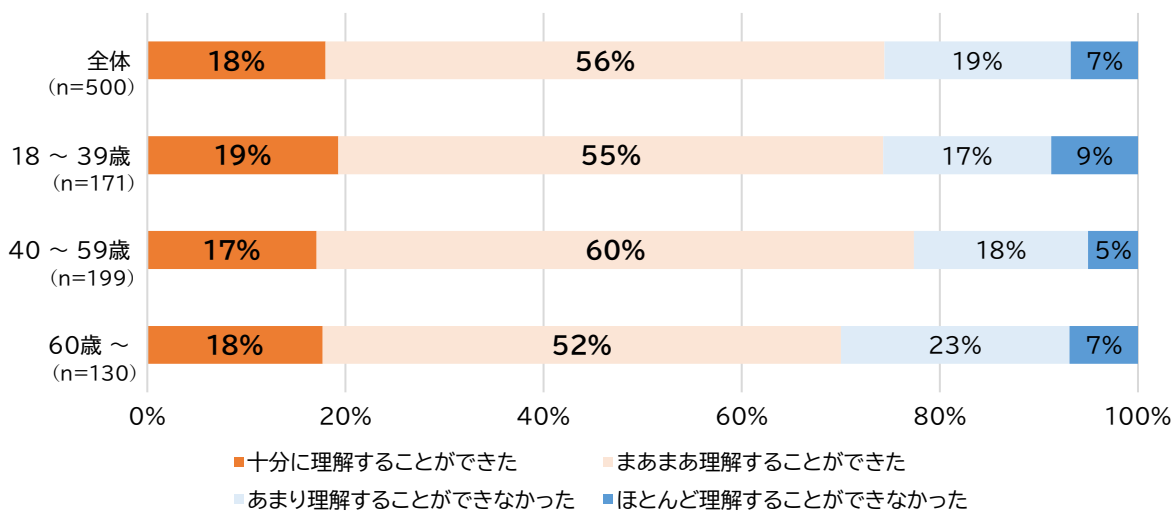
回答全数のうち「普段利用しないのでわからない」の割合



2. 「見える化シート」を通じた各施設における管理運営や取組状況の理解度について

- 全体で見ると、「十分に理解することができた」と「まあまあ理解することができた」を合わせた理解度は74%となっている。
- 年代別に比較しても、理解度の割合はほぼ同様の傾向となっており、見える化シートが公共施設の有効利用について考えるきっかけづくりに寄与できたものと考えられる。

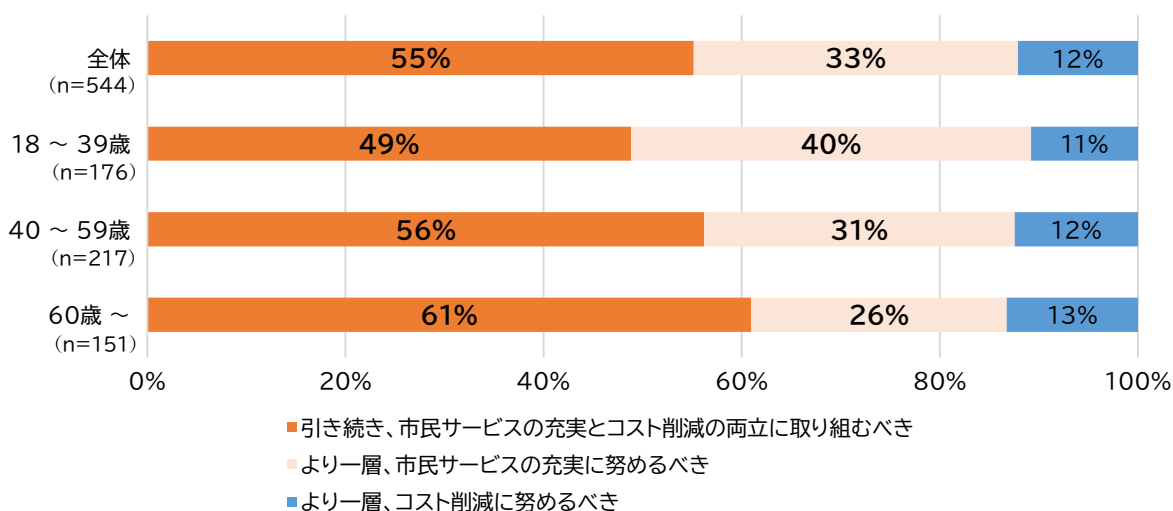
見える化シートの理解度（「分からない又は判断できない」を除く）



3. 市民サービス（便益）と施設運営費（コスト）のバランスに関する考え方について

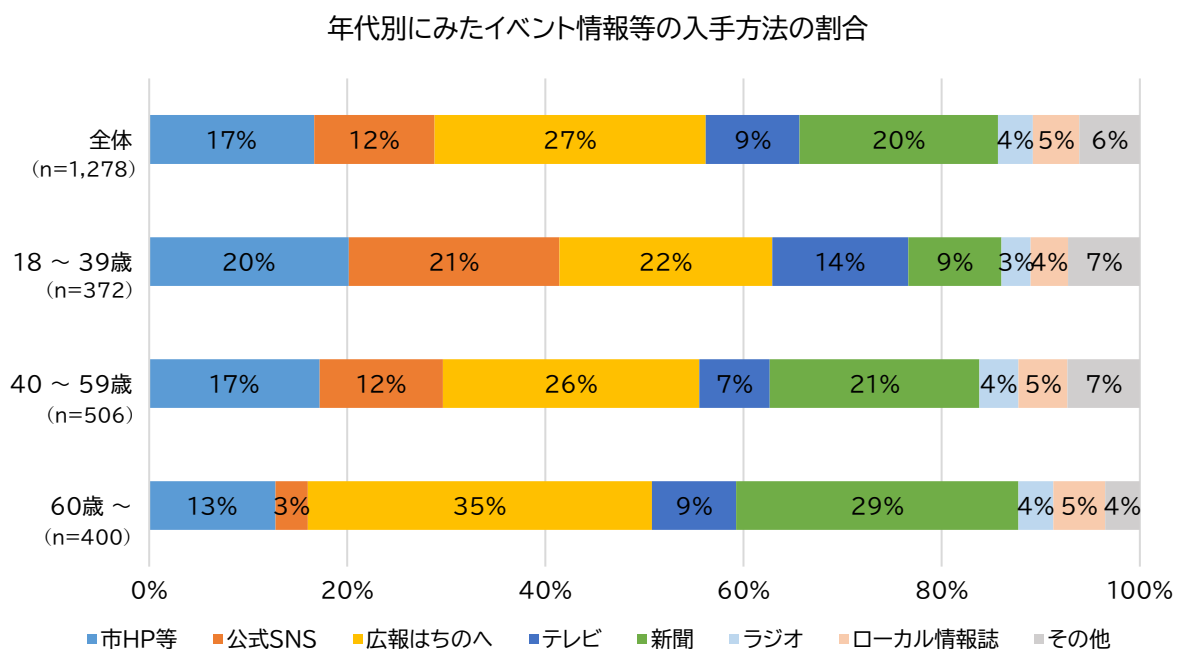
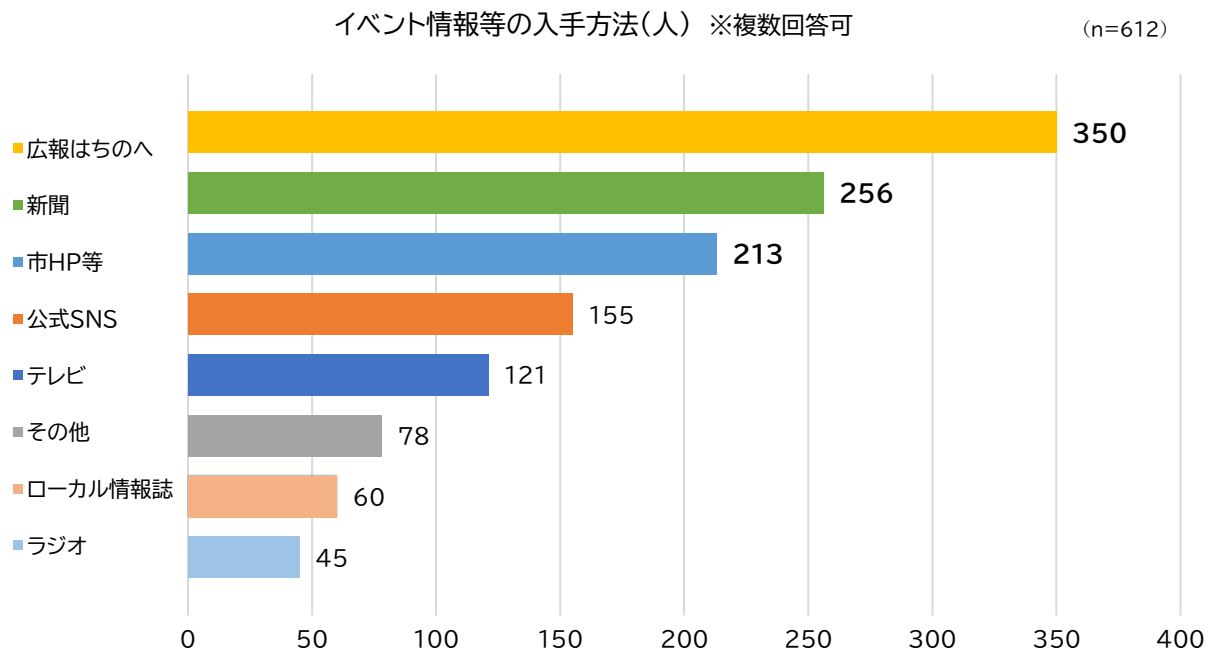
- 全体で見ると、「引き続き、市民サービスの充実とコスト削減の両立に努めるべき」が55%、次いで「より一層、市民サービスの充実に努めるべき」が33%となっている。
- 年代別に比較すると、若年層ほど更なるサービス充実を求める声が多くなっている。

市民サービスと施設運営費のバランス（「分からない又は判断できない」を除く）



4. 公共施設の利用方法やイベント情報等の入手方法について

- 全体で見ると、広報はちのへ(350人)が最も多く、2人に1人が活用している。
- 次いで、新聞(256人)、市ホームページ等(213人)となっている。
- 年代別にみると、若年層は公式 SNS をはじめ様々な媒体を活用している一方で、年齢が上がるにつれて、広報はちのへや新聞など、紙の媒体を活用する割合が高くなっている。



Ⅲ 調査結果（施設別）

Ⅲ-1 ブックセンター

Ⅲ-2 美術館

Ⅲ-3 はっち

Ⅲ-4 マチニワ

Ⅲ-5 YSアリーナ八戸

Ⅲ-6 是川縄文館

Ⅲ-7 図書館

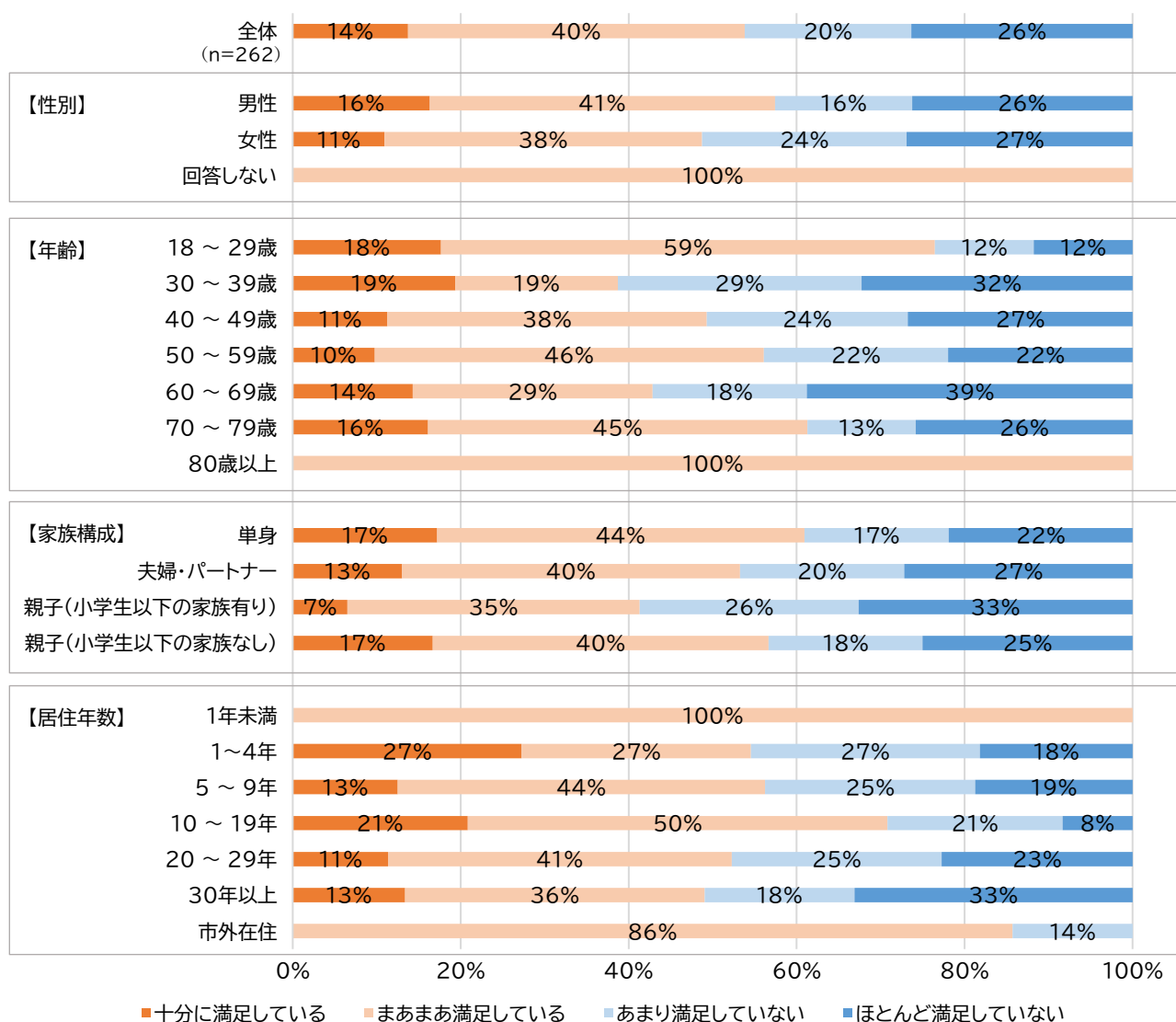
Ⅲ-8 博物館

Ⅲ-1 ブックセンター

1. 満足度の属性別比較

- 全体で見ると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度は54%。
- 属性別にみると、「市外在住」や「18～29歳」の方の満足度が高くなっている。

ブックセンターの満足度（「普段利用しないのでわからない」を除く）



<満足度が高い属性>

順位	属性	%
1	市外在住	86
2	18～29歳	77
3	居住年数:10～19年	71

<満足度が低い属性>

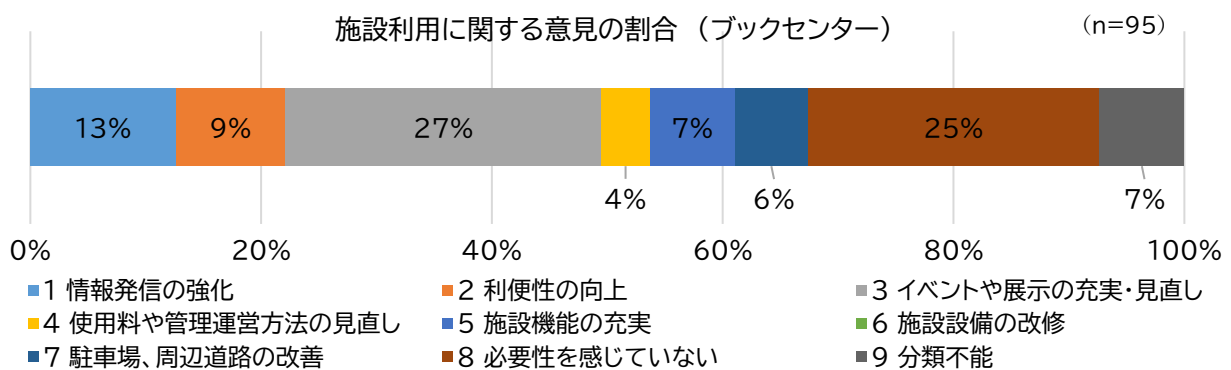
順位	属性	%
1	30～39歳	38
2	親子(小学生以下の家族有り)	42
3	60～69歳	43

※満足度が高い属性について、100%の項目を除いて抽出している。(以下、各施設とも同じ)

2. 施設利用に関する意見

※対象施設について、「あまり満足していない」又は「ほとんど満足していない」と回答した方から寄せられた施設利用に関する意見について、グラフにある1～9の項目に分類して傾向を把握するとともに、意見の多かった項目について代表的・特徴的な意見を掲載する。内容は原文を基本とするが、長文の場合等は一部省略・修正している。（以下、各施設とも同じ）

- 「3 イベントや展示の充実・見直し」が 27%と最も多くなっており、具体的には、本をより身近に感じられるような品揃えの充実や、子ども向けのイベント開催を望む意見がある。
- 次いで、「8 必要性を感じていない」や、「1 情報発信の強化」に関する意見が多い。



～意見の多かった項目と代表的・特徴的な意見～

項目	代表的・特徴的な意見
1 情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような利用方法や楽しみ方があるのか、もっとアピールしてほしい。 ・入門的な立ち位置の本、文学や学問に触れやすいポップや説明などが欲しい。 ・分野別に魅力ある本を SNS などで発信してほしい。
3 イベントや展示の充実・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・コアなイベントばかり開催しているイメージがあり近寄りがたい。子どもが楽しめるイベントも開催してほしい。 ・専門的過ぎて本を身近に感じられない。ごく限られた人だけが利用するところのように感じている。
8 必要性を感じていない	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に対してのニーズが狭いというか、なぜ八戸を「本のまち」にしたいのかがよくわからない。図書館やはっちの増設でも十分対応できると思う。 ・高額な賃料を支払ってまで市が直営で運営する必要性はない。その分、図書館を充実させて欲しい。

3. 有効利用に向けた検討の視点

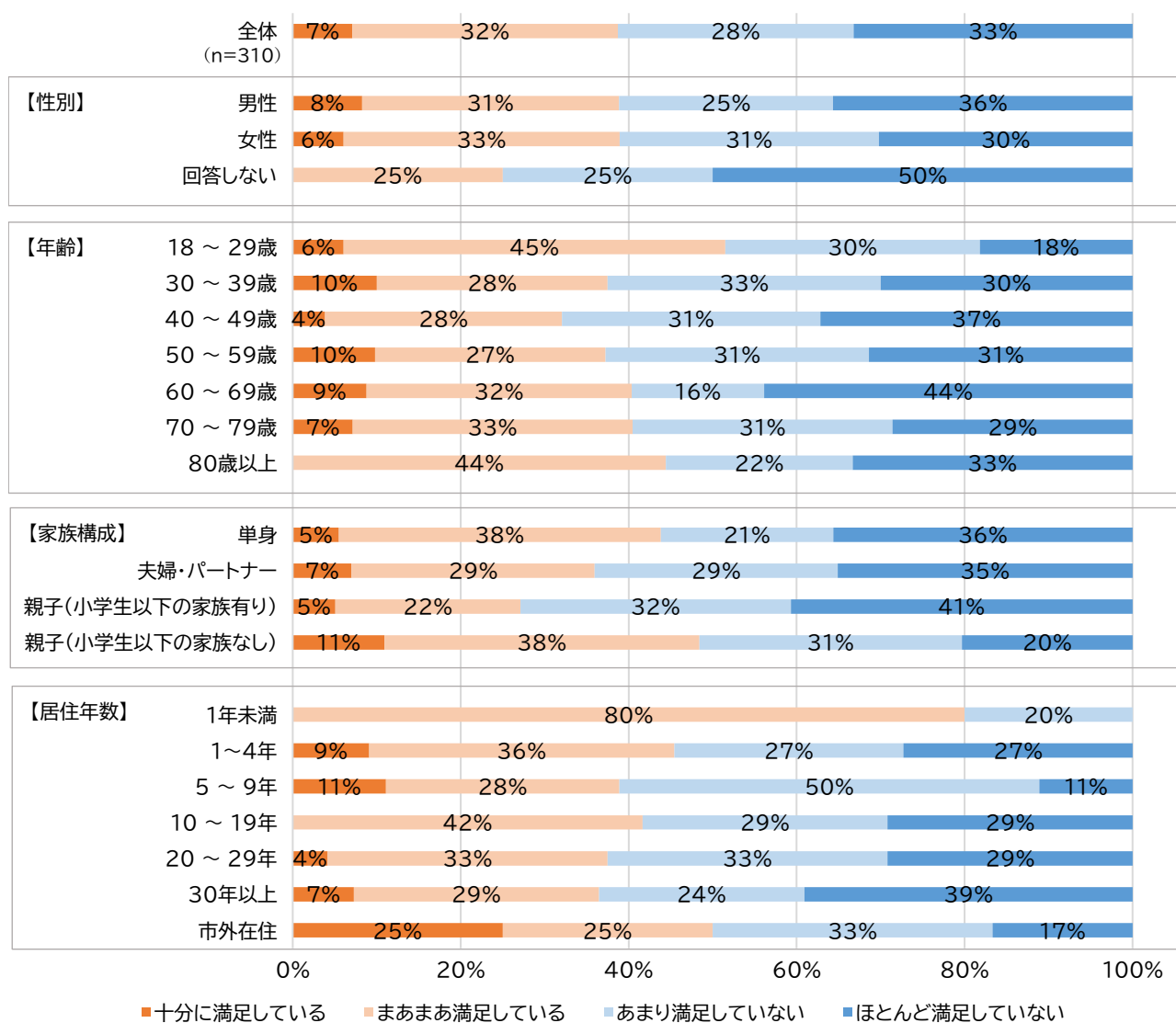
- 満足度に関する回答全数のうち、「普段利用しないのでわからない」が 57%と約半数ある。
- 「親子(小学生以下の家族有り)」の満足度が低いことから、子どもが楽しめるイベントの開催なども必要と考えられる。
- 満足度が低い属性が一定数あることから、本をより身近に感じられるような品揃えの充実や、より幅広い利用を促すための施設運営の視点も必要と考えられる。
- 「8 必要性を感じていない」の割合が一定数あることから、ブックセンターの設置目的や利用方法等の理解促進に向けた取組をより一層推進することが必要と考えられる。

Ⅲ-2 美術館

1. 満足度の属性別比較

- 全体で見ると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度は39%。
- 属性別にみると、居住年数「1年未満」や「市外在住」、「18～29歳」の方の満足度が高くなっている。

美術館の満足度（「普段利用しないのでわからない」を除く）



<満足度が高い属性>

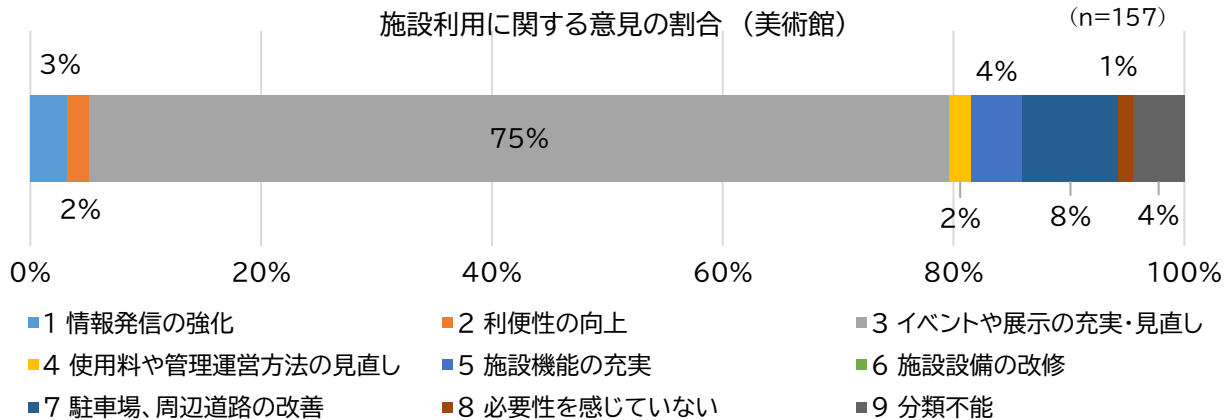
順位	属性	%
1	居住年数:1年未満	80
2	18～29歳	51
3	市外在住	50

<満足度が低い属性>

順位	属性	%
1	性別:回答しない	25
2	親子(小学生以下の家族有り)	27
3	40～49歳	32

2. 施設利用に関する意見

- 「3 イベントや展示の充実・見直し」が 75%と大多数を占めており、具体的には常設展示の充実や、象徴的作品の展示、知名度のあるわかりやすい企画展の開催などを期待する意見が主である。



～意見の多かった項目と代表的・特徴的な意見～

項目	代表的・特徴的な意見
3 イベントや展示の充実・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展の充実、多彩な美術でわくわくする場所であってほしい。 ・全国的に知名度のある企画や、わかりやすい展示をしてほしい。 ・若干奇をてらった企画が多く感じる。王道の美術品展示も定期的に行い、オーソドックスな芸術にも触れてみたい。 ・今までにない美術館もよいが、保有している収蔵品を惜しまず見せてほしい。 ・特徴あるモニュメントやオブジェを置き、市民に愛着を湧かせるべき。 ・市の美術館におけるコンセプトと市民のニーズが果たしてマッチしているのか疑問視している。
5 施設機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェがあれば利用しやすい。 ・ミュージアムショップを充実させてほしい。
7 駐車場、周辺道路の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・無料駐車場が欲しい。 ・近隣駐車場の利用案内や、割引サービスを充実してほしい。

3. 有効利用に向けた検討の視点

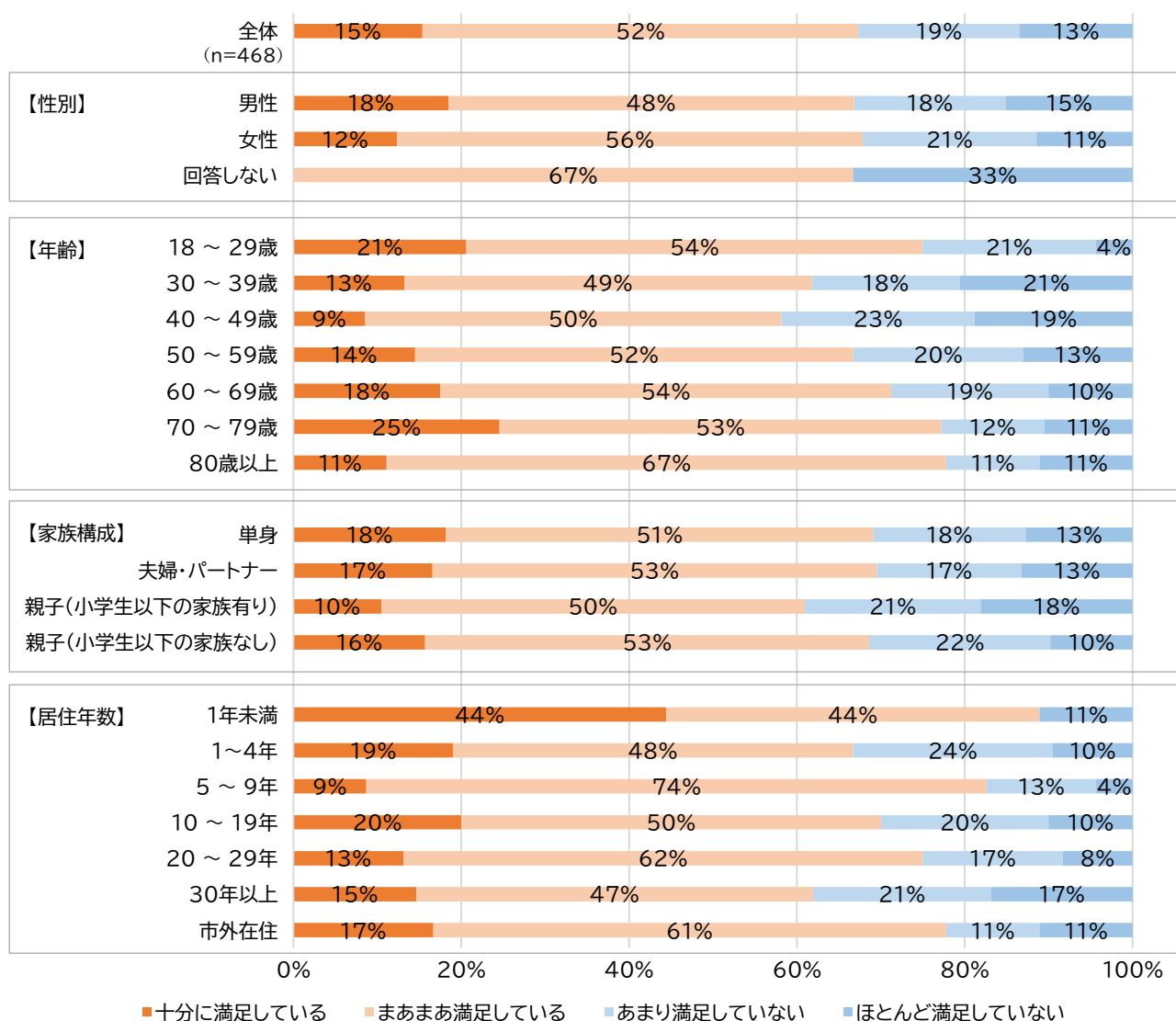
- 満足度に関する回答全数のうち、「普段利用しないのでわからない」が 49%と約半数ある。
- 満足度が全体で 39%に留まっているが、『出来て間もなくこれからの施設』との評価もある。
- 「3 イベントや展示の充実・見直し」に関する意見が大半であり、知名度のあるわかりやすい美術品展示や、特徴あるモニュメント・オブジェの設置を望む意見がある。コンセプトの浸透に向けた取組は引き続き進めながら、市民が愛着を抱く美術館を目指していくことが必要である。
- 利用促進に当たっては、カフェの設置やミュージアムショップの充実など、滞在環境の向上について検討することも考えられる。

Ⅲ-3 はっち

1. 満足度の属性別比較

- 全体で見ると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度は 67%。
- 属性別にみると、ほぼすべての属性において満足度が 60% を超えている。

はっちの満足度（「普段利用しないのでわからない」を除く）



<満足度が高い属性>

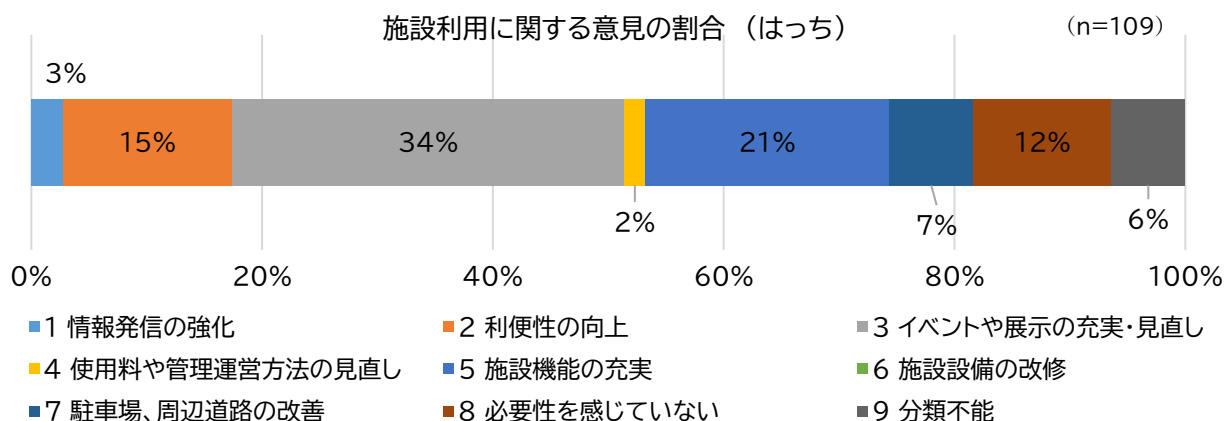
順位	属性	%
1	居住年数:1年未満	88
2	居住年数:5～9年	83
3	70～79歳	78
3	80歳以上	78
3	市外在住	78

<満足度が低い属性>

順位	属性	%
1	40～49歳	59
2	親子(小学生以下の家族有り)	60
3	30～39歳	62
3	居住年数:30年以上	62

2. 施設利用に関する意見

- 「3 イベントや展示の充実・見直し」が 34%と最も多くなっており、具体的には大型イベントの増や、開催イベントの多様化、展示のリニューアルを希望する意見がある。
- 次いで、「5 施設機能の充実」や、「2 利便性の向上」に関する意見が多い。



～意見の多かった項目と代表的・特徴的な意見～

項目	代表的・特徴的な意見
2 利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館の利用方法が複雑なので、もう少しラクに借りられると助かる。 ・館内やエスカレーターの道順をわかりやすくしてほしい。
3 イベントや展示の充実・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・「はっち市」を再開してほしい。大型イベントが増えると良い。 ・展示もずっと変わらないままで面白みに欠け、マンネリ化している。 ・中心街のイベントにコラボしてもっと存在意義を見いだしてほしい。
5 施設機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しめる箇所、子供が遊べる場所が、こどもはっちだけではなくて他の箇所にももっとほしい。 ・子ども向けのメニューがあるお店や、ディナーも楽しめる飲食店を増やしてほしい。

(3) 有効利用に向けた検討の視点

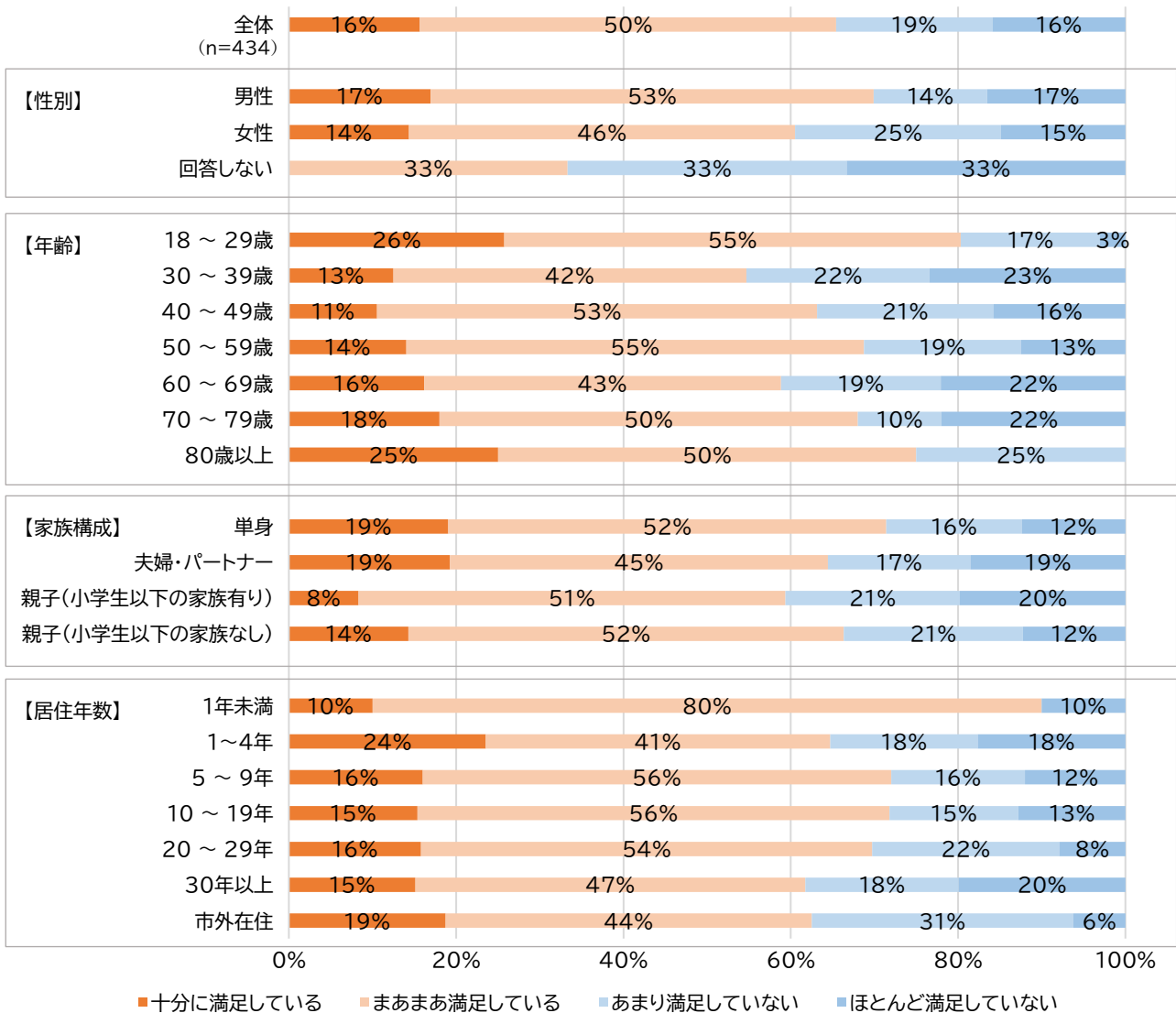
- どの属性でみても全体的に満足度が高い。特に、居住年数が短い方の満足度が高いことから、八戸市の魅力を発信するために有効な施設であると考えられる。
- 満足度に関する回答全数のうち、「普段利用しないのでわからない」が 24%と低いことから、多くの市民に浸透し、中心市街地におけるにぎわいの拠点となっており、中心市街地に立地する他の公共施設への効果波及などに対する期待も大きい。
- 「3 イベントや展示の充実・見直し」や「5 施設機能の充実」を求める意見が多いことから、多様な市民ニーズに対応するため、民間事業者との連携を図りながら、中心市街地活性化の取組を進める中で一体的に対策の検討を進めていくことが効果的であると考えられる。

Ⅲ-4 マチニワ

1. 満足度の属性別比較

- 全体で見ると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度は66%。
- 属性別にみると、ほぼすべての属性において満足度が50%を超えている。

マチニワの満足度（「普段利用しないのでわからない」を除く）



<満足度が高い属性>

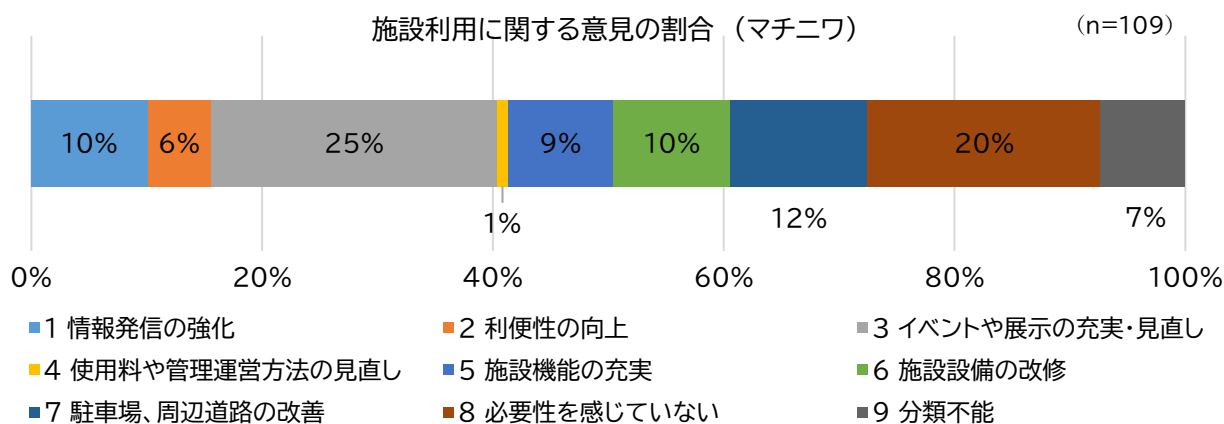
順位	属性	%
1	居住年数:1年未満	90
2	18～29歳	81
3	80歳以上	75

<満足度が低い属性>

順位	属性	%
1	性別:回答しない	33
2	30～39歳	55
3	60～69歳	59
3	親子(小学生以下の家族有り)	59

2. 施設利用に関する意見

- 「3 イベントや展示の充実・見直し」が 25%と最も多くなっており、具体的には飲食や音楽関連のイベントの開催増を希望する意見がある。
- 次いで、「8 必要性を感じていない」や、「7 駐車場、周辺道路の改善」、「1 情報発信の強化」、「6 施設設備の改修」に関する意見が多い。



～意見の多かった項目と代表的・特徴的な意見～

項目	代表的・特徴的な意見
1 情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの魅力が幅広く伝わっていない。イベント情報はどこで入手できるのかが分からない。 ・ どのような活用方法があるのか、またどんなイベントがあるのかももっとアピールしてほしい。
3 イベントや展示の充実・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食や音楽関連のイベントを増やして盛り上げてほしい。 ・ 集客できるフードフェス、本のまち八戸を活かしたイベント、クラフトフェア、マルシェ等開催して活気創出して欲しい。
6 施設設備の改修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に冬の寒さが大変なので暖房を設置できないか。
7 駐車場、周辺道路の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料駐車場が欲しい。 ・ 駐車場の割引サービスを充実してほしい。
8 必要性を感じていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ はっちがあるにも関わらず何のためにあるのかわからない。

3. 有効利用に向けた検討の視点

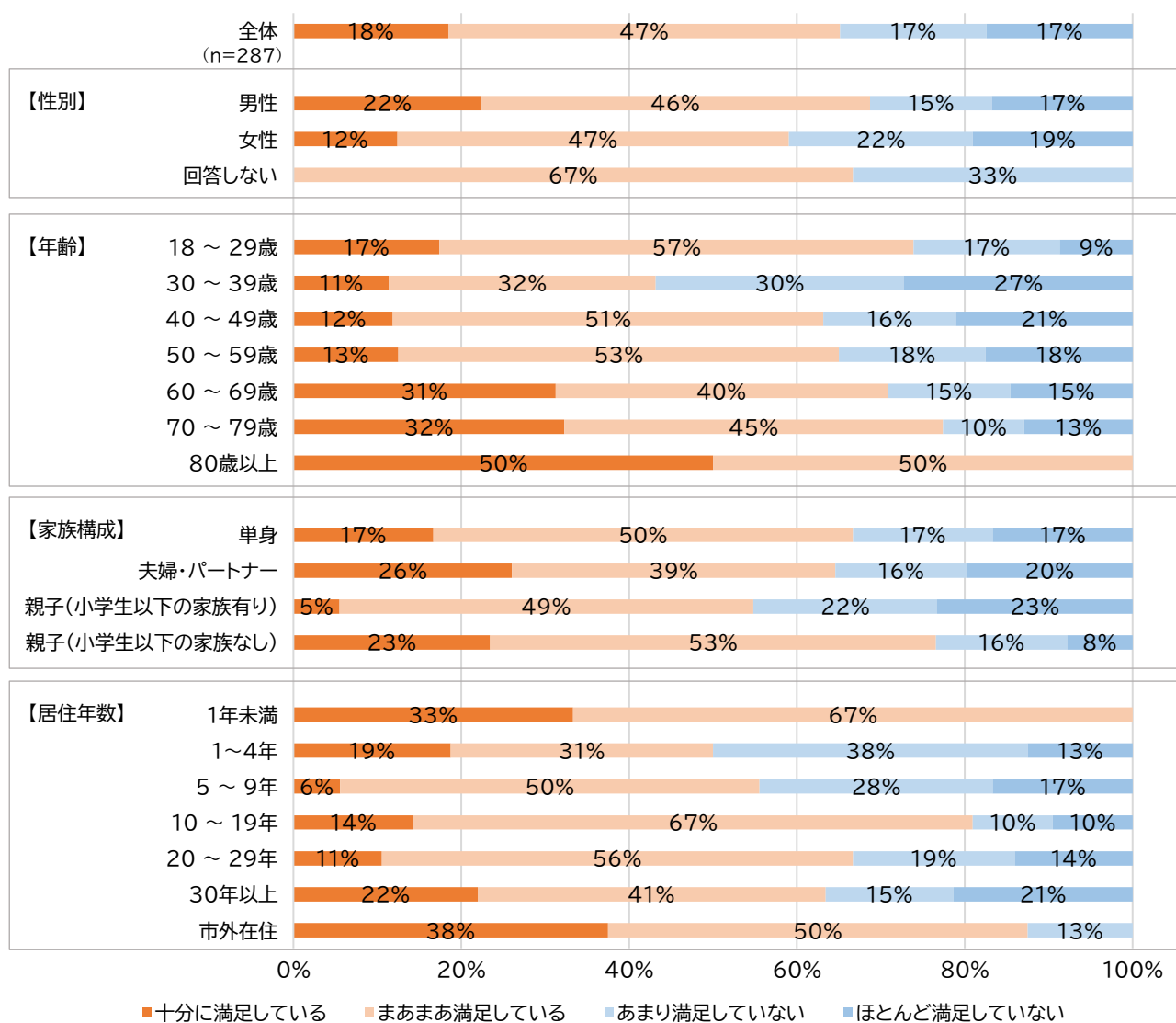
- ほぼすべての属性において満足度が50%を超えている一方で、「どのような活用方法があるのか、どのようなイベントがあるのかももっとアピールしてほしい」といった意見もあることから、イベント情報等の効果的な発信方法について検証することが必要である。
- はっちをはじめ、中心市街地に立地する他の公共施設と連携してイベントの多様化を図るなど、活気創出につながる取組が期待される。
- 冬季の寒さ対策など、年間を通じた滞在環境の向上に向けた取組も検討項目として考えられる。

Ⅲ-5 YSアリーナ八戸

1. 満足度の属性別比較

- 全体で見ると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度は65%。
- 属性別にみると、ほぼすべての属性において満足度が50%を超えている。

YSアリーナ八戸の満足度（「普段利用しないのでわからない」を除く）



<満足度が高い属性>

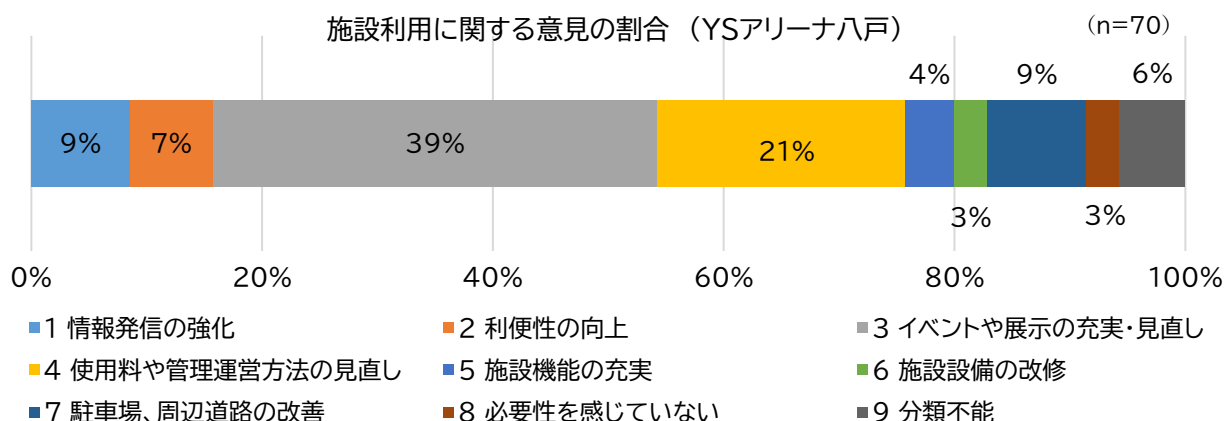
順位	属性	%
1	市外在住	88
2	居住年数:10～19年	81
3	70～79歳	77

<満足度が低い属性>

順位	属性	%
1	30～39歳	43
2	居住年数:1～4年	50
3	親子(小学生以下の家族有り)	54

2. 施設利用に関する意見

- 「3 イベントや展示の充実・見直し」が 39%と最も多くなっており、具体的には、シーズンオフ期間に音楽イベントの開催を希望する意見が多い。
- 次いで、「4 使用料や管理運営方法の見直し」が 21%となっており、一般開放日が少ないことや利用料金が高いことなどにより利用しづらいといった意見がある。



～意見の多かった項目と代表的・特徴的な意見～

項目	代表的・特徴的な意見
1 情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・スケート以外にどのように利用されているのかがわからない。 ・中で何をやっているのか、これから何をやるのかわからない。ぜひサインージなどで「見える化」を。
3 イベントや展示の充実・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・竣工記念音楽フェスのような音楽イベントを開催してほしい。 ・各種全国大会規模のメイン会場に使うなど、外部の協力を得て有効活用を図るべき。
4 使用料や管理運営方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・一般開放日が少なく利用しづらい。 ・利用料金が高いため、小学生等は親子割引があると行きやすい。 ・中地人工芝コートは料金が高く稼働率が低いため多目的コートにすべき。 ・指定管理者制度に移行し、スケート競技運営と地域スポーツや文化活動に開けた施設運営を積極的に自主展開できる運営スタイルに転換すべき。
7 駐車場、周辺道路の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場から入口までがわかりにくいので、案内表示を増やしてほしい。

3. 有効利用に向けた検討の視点

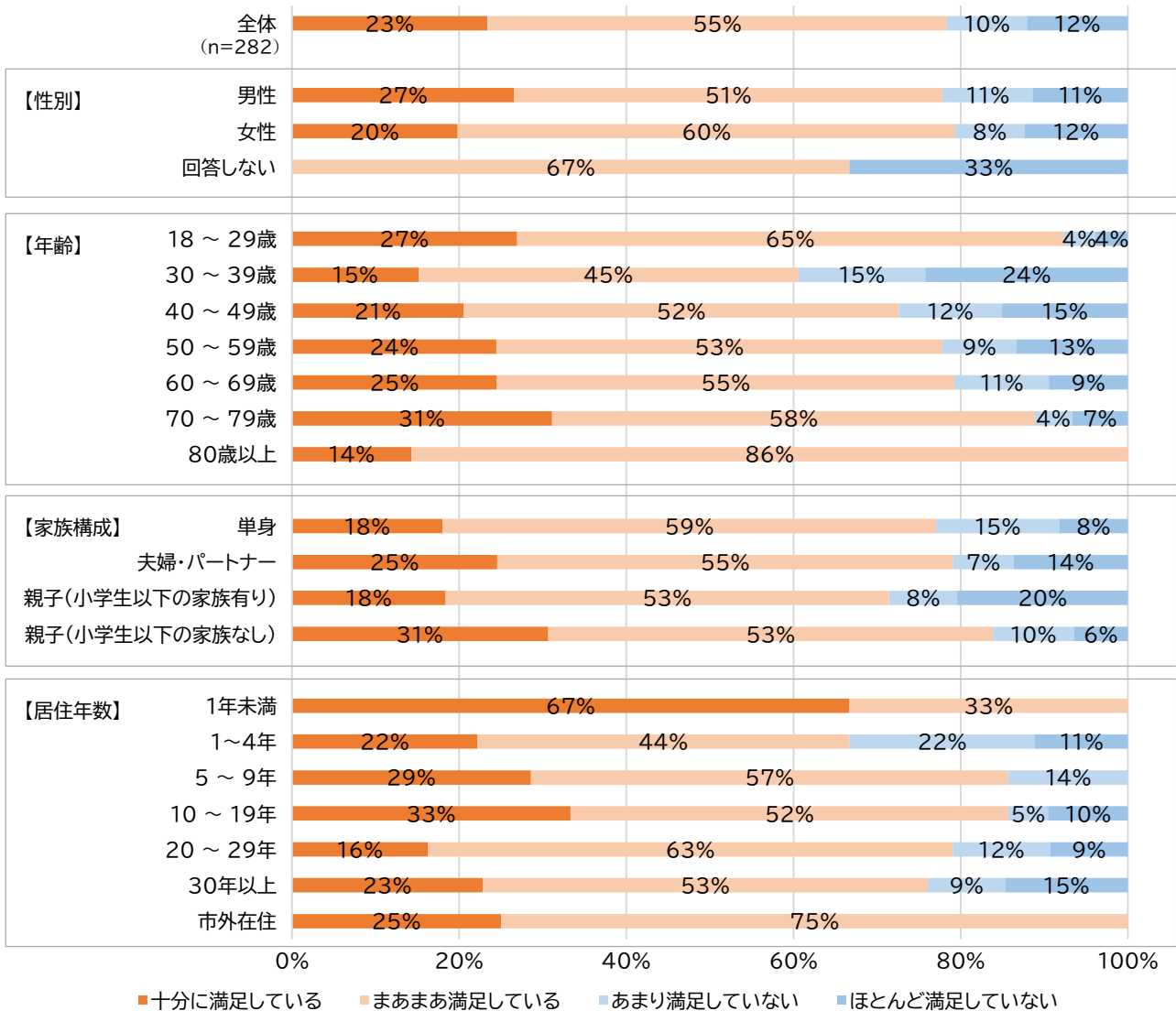
- 満足度に関する回答全数のうち、「普段利用しないのでわからない」が 53%と約半数ある。
- スピードスケート国際大会に対応した特別な施設である一方で、市民にとっては一般開放日や料金の面で利用しづらいとの意見もあることから、市民利用に配慮した運営方法の工夫や、指定管理者制度への移行について検討することが考えられる。
- 大規模な音楽イベントの開催を期待する意見が多いことから、シーズンオフ期間における利活用について改めて検討することが必要である。

Ⅲ-6 是川縄文館

1. 満足度の属性別比較

- 全体で見ると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度は78%。
- 属性別にみると、すべての属性において満足度が60%を超えている。

是川縄文館の満足度（「普段利用しないのでわからない」を除く）



<満足度が高い属性>

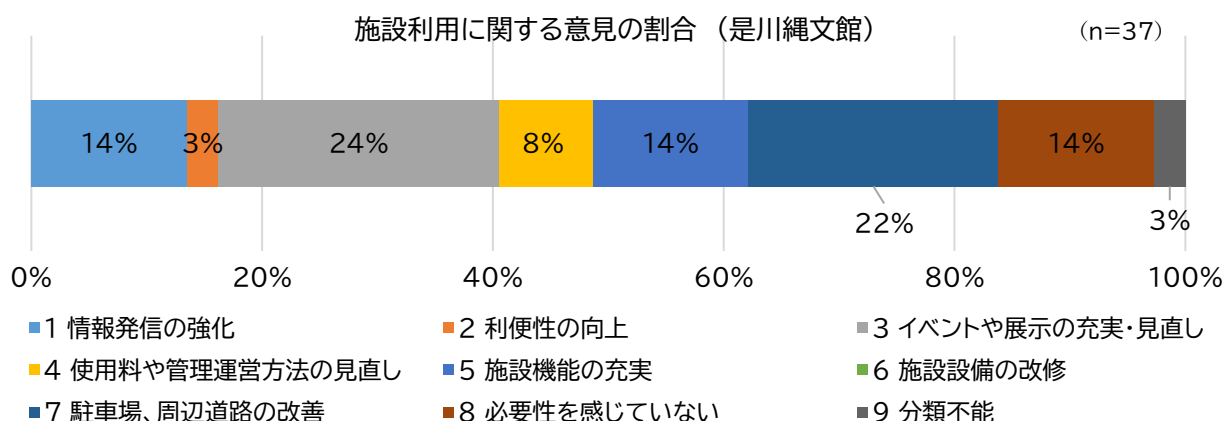
順位	属性	%
1	18～29歳	92
2	70～79歳	89
3	居住年数:5～9年	86

<満足度が低い属性>

順位	属性	%
1	30～39歳	60
2	居住年数:1～4年	66
3	性別:回答しない	67

2. 施設利用に関する意見

- 「3 イベントや展示の充実・見直し」が 24%と最も多くなっており、世界遺産登録を契機とした企画の充実などを希望する意見がある。
- 次いで、「7 駐車場、周辺道路の改善」や、「1 情報発信の強化」、「5 施設機能の充実」に関する意見が多い。



～意見の多かった項目と代表的・特徴的な意見～

項目	代表的・特徴的な意見
1 情報発信の強化	・ 国宝合掌土偶をはじめとした出土品の展示方法や見せ方は見応えあるが、その魅力が多くの人に伝わっていないように感じる。無料入館日を増やしたり、広告宣伝に力を入れるなど、思い切った集客施策を試験的に採用するのも良いのではないか。
3 イベントや展示の充実・見直し	・ 世界遺産登録を機に縄文が注目されているため、ソフト面の企画の実施や、三内丸山遺跡など他地域の遺跡と連動したツアーなどを開発してもよい。 ・ 是川遺跡の魅力を楽しく気軽に学べる参加型のイベントを定期的に企画、発信してほしい。
5 施設機能の充実	・ 開放された公園、飲食スペースがあっても良い。 ・ お土産ショップやイートインスペースを充実させると集客できそう。
7 駐車場、周辺道路の改善	・ 郊外に立地しているため、マイクロバスの定期便など交通アクセスの向上を図ってほしい。

3. 有効利用に向けた検討の視点

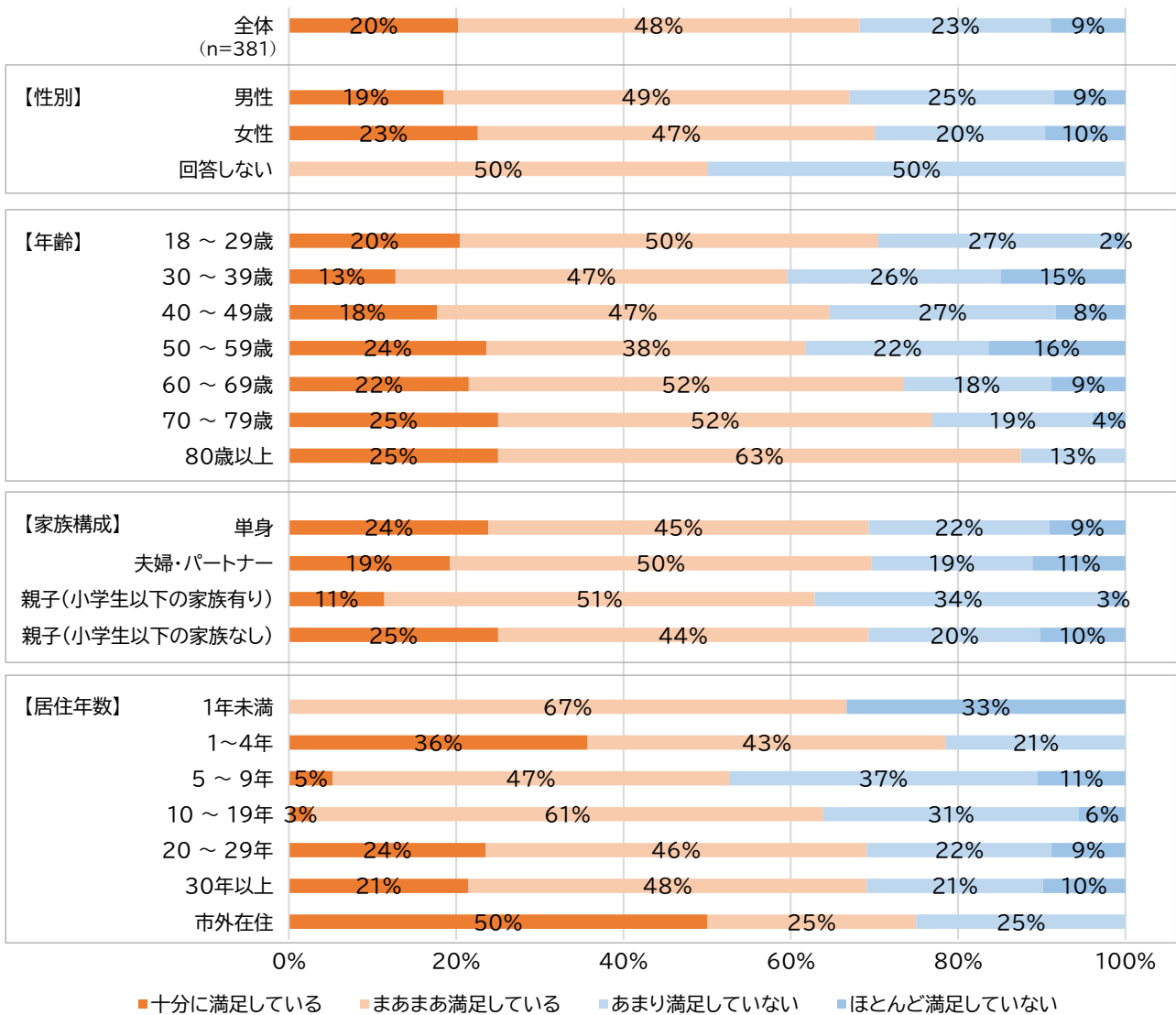
- 満足度に関する回答全数のうち、「普段利用しないのでわからない」が 54%と約半数あるが、満足度は全体で78%と高い。
- 当地域の縄文文化を発信する中心的施設であり、より多くの方に魅力を伝えるための効果的な情報発信や、他地域の遺跡と連動した取組等について検討することが考えられる。
- 利用者の満足度を高める取組として、お土産ショップやイートインスペースの充実、交通アクセスの向上などについて検討することも考えられる。

Ⅲ-7 図書館

1. 満足度の属性別比較

- 全体で見ると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度は68%。
- 属性別にみると、すべての属性において満足度が50%を超えており、特に年代が上がるほど満足度が高くなる傾向にある。

図書館の満足度（「普段利用しないのでわからない」を除く）



<満足度が高い属性>

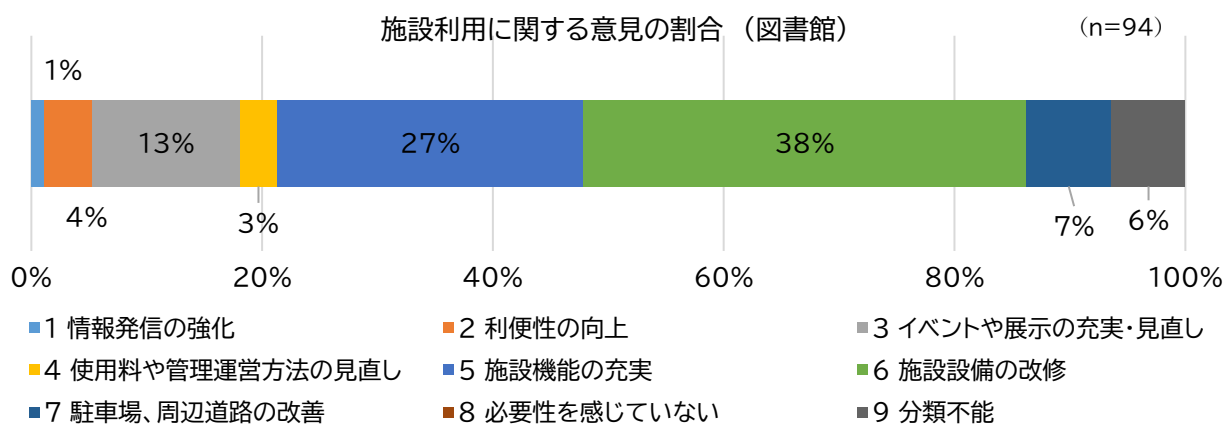
順位	属性	%
1	80歳以上	88
2	居住年数:1～4年	79
3	70～79歳	77

<満足度が低い属性>

順位	属性	%
1	性別:回答しない	50
2	居住年数:5～9年	52
3	30～39歳	60

2. 施設利用に関する意見

- 「6 施設設備の改修」が 38%と最も多くなっており、具体的には、施設の老朽化や蔵書の劣化について改善を希望する意見が主である。
- 次いで、「5 施設機能の充実」が 27%となっており、カフェの設置や、ゆっくりと滞在できるスペースの拡充を望む意見が多い。



～意見の多かった項目と代表的・特徴的な意見～

項目	代表的・特徴的な意見
3 イベントや展示の充実・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・規模を拡大し蔵書数や資料の種類を増やしてほしい。 ・図書館は知の拠点。ブックセンターなど他施設とも連動した活動をしてほしい。
5 施設機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・座ってゆったりと本を読めるスペースを増やしてほしい。 ・年齢的に静かにできない子どもでも利用できるスペースが欲しい。 ・中高生が勉強に利用するためのスペースを増やした方がいい。 ・食事を取れるお店等がまわりになく、一日ゆっくり利用することができないため、カフェ等を併設してほしい。
6 施設設備の改修	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に老朽化が目立っており、特にトイレの改修をしてほしい。 ・傷んでいる本があるなど、蔵書の古さが目立つ。 ・全体的に暗く、本を読むためには照明の配置等に工夫が必要。

3. 有効利用に向けた検討の視点

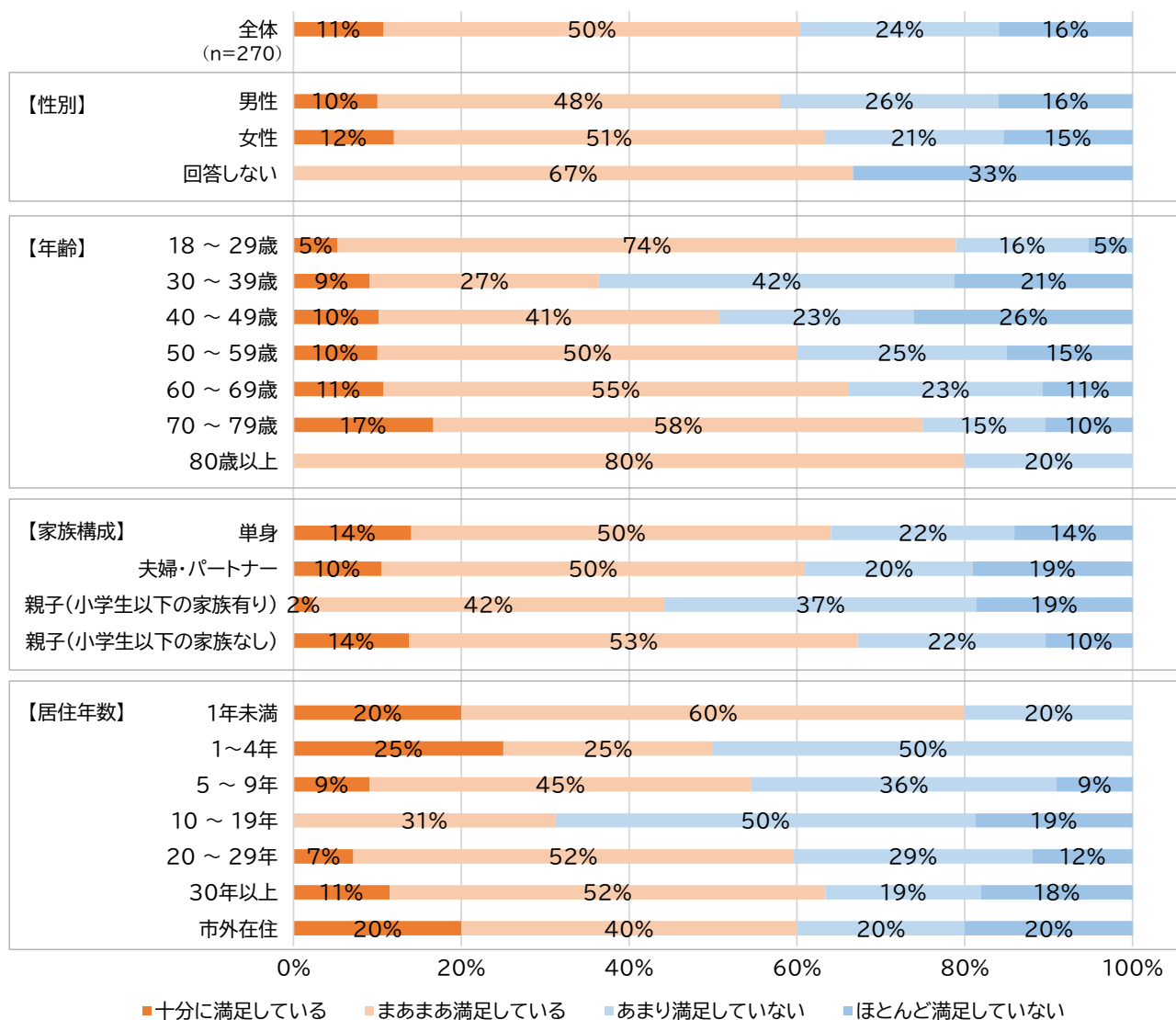
- 蔵書や施設設備など、随所で老朽化が目立っていることから、改修内容について優先順位を定め、着実に対策を進めていく必要があると考えられる。
- 利用者の満足度を高める取組として、カフェ等の設置や、読書用、勉強用、子供用など各種スペースの設置について検討することも考えられる。
- 図書等資料の充実を図るとともに他施設との連携を図り、図書館の価値を再発信することが必要である。

Ⅲ-8 博物館

1. 満足度の属性別比較

- 全体で見ると、「十分に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた満足度は61%。
- 属性別にみると、「18～29歳」の満足度が79%と高く、30歳以上については、年代が上がるほど満足度が高くなる傾向にある。

博物館の満足度（「普段利用しないのでわからない」を除く）



<満足度が低い属性>

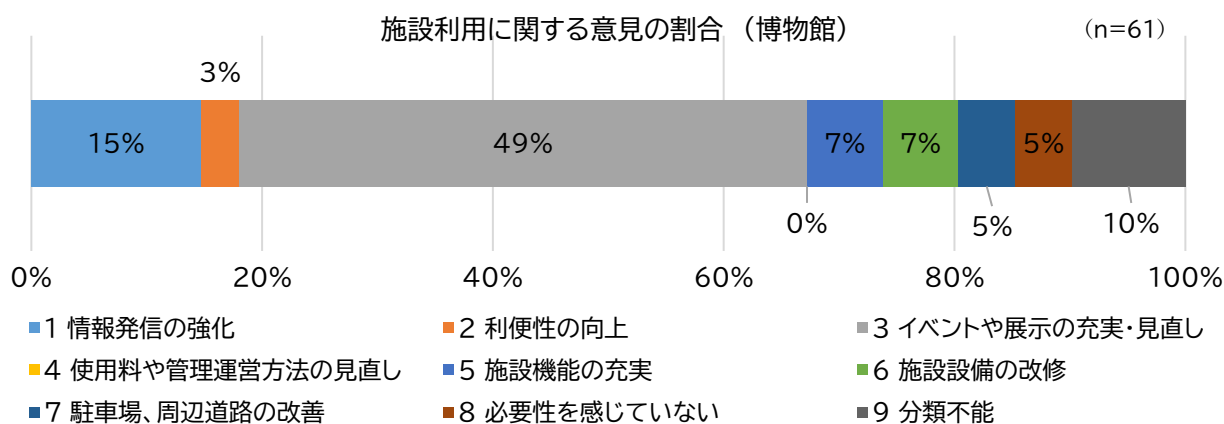
<満足度が高い属性>

順位	属性	%
1	80歳以上	80
1	居住年数:1年未満	80
3	18～29歳	79

順位	属性	%
1	居住年数:10～19年	31
2	30～39歳	36
3	親子(小学生以下の家族有り)	44

2. 施設利用に関する意見

- 「3 イベントや展示の充実・見直し」が 49%と最も多くなっており、具体的には展示のリニューアルや魅力のある企画等を求める意見が多い。
- 次いで、「1 情報発信の強化」が 15%となっており、企画展やイベントに関するPRを強化してほしいといった意見がある。



～意見の多かった項目と代表的・特徴的な意見～

項目	代表的・特徴的な意見
1 情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展やイベントに関するPRが不足している。 ・根城の広場に関する魅力も一体でアピールしてはどうか。
3 イベントや展示の充実・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・展示内容がほとんど変わらずマンネリ化している。展示をリニューアルしてほしい。 ・是川縄文館や更上閣などと棲み分けをした展示、企画をしてほしい。 ・もっと面白い企画やタイアップ、コラボ企画を期待したい。(大河ドラマやお宝鑑定団等)

3. 有効利用に向けた検討の視点

- 満足度に関する回答全数のうち、「普段利用しないのでわからない」が 56%と約半数ある。
- 企画展やイベント情報について、幅広い周知を行うための効果的な情報発信方法について検討する必要がある。
- 他都市の事例等も研究しながら、デジタルを活かした展示や、他施設との連携事業など、新たな取組を検討することも考えられる。

IV 公共施設の有効利用に向けた意見・提案

※回答者 612 人中 299 人から寄せられた自由記述のうち、代表的・特徴的な意見・提案を掲載する。内容は原文を基本とするが、長文の場合等は一部省略・修正している。

◆18～39 歳 (n=73)

性別	年齢	代表的・特徴的な意見・提案
女性	30～39 歳	まずは影響力や発言力のある人たちに見学や利用をしてもらい、口コミで周知をはかるのも一つの方法かと思います。博物館や縄文館なども、青森県の国宝はすべて八戸市にあるなど、素晴らしい歴史や文化があるのに認知されていなさすぎるというか、VISIT はちのへなどとも連携しながら興味の湧くような面白い PR を世界に向けて行い、外の人が集まって盛り上がって話題になっている様子があれば、自ずと市民も興味関心を持つようになるのではないのでしょうか。
女性	30～39 歳	八戸市の Twitter はフォローしていますが、そのほかの施設はアカウントがあるかも分かりません。どんなところなのか、ぎっくりは分かると思いますが、行こう！と思える魅力があまり伝わってこないです。魅力的な写真の投稿、イベント事のお知らせ、普段の様子等、SNS で発信して欲しいです。
女性	30～39 歳	公民館や市庁舎を含めて、市民が利用できるかもっとアピールしてほしいです。YS アリーナのホワイエが使えることも知りませんでした。こういった使えるのに使われていないスペースはたくさんあるのではないのでしょうか。フリースペースのレンタルでは、はっちなどに集中してしまっているように思います。Wi-Fi や駐車場など設備の充実も幅広い年代の市民に使っていただくには必要だと思います。
男性	30～39 歳	市営バスなどの公共交通機関を利用して来場する人に対して割引を適用したり、施設利用をするために駐車場を割引するなどして、中心街施設を利用しやすくして欲しい。
男性	30～39 歳	サービスとコストを天秤にかけるような議論をするというより、必要などころにはお金をかけ、稼働してない施設(不要になったもの)は削減・縮小していく、というメリハリが大事だと思います。不要なところは削減し必要などころに力を入れてほしい。

◆40～59 歳 (n=132)

性別	年齢	代表的・特徴的な意見・提案
男性	40～49 歳	直営施設については、自治体の直営を前提にしたコスト削減だけではなく、指定管理への移行や部分的な業務委託導入など、施設運営のノウハウは他都市でも様々な形式で積み重ねられているため、他都市の事例を参考に検討が必要と考えます。また、民間活力導入という意味では行財政運営上のコスト削減だけではなく、市民力向上や協働のまちづくりの視点から、運営そのもの以外でも積極的に市民組織や民間機関と連携した事業展開を進めることも重要で、多くの多様な市民を巻き込むことが、実は最大の PR 策、理解促進策に繋がるのではないのでしょうか。また、資金の集め方についても全国で様々なアイデアが官民連携しながら適用されていますので、公共施設全体のマネジメントについても、全国の先進事例を参考に、様々な手法を試験的に取り入れていくことも重要ではないのでしょうか。
男性	40～49 歳	中心街には、はっち、マチニワ、美術館、アイスアリーナといった機能が似たような施設があるため施設目的を明確にして、機能を十分に生かすべき。行政が負担するランニングコストも投資として認識し、どのような効果を得るか、得た効果がどのように八戸市の発展につながっているかなど、単年度だけではなく中・長期的な視点からの評価が必要。
女性	50～59 歳	興味深いイベントや講演会をそれぞれで開催していますが、開催後に新聞で知ったり、有益なイベントも届いて欲しい団体やグループへ行き渡っていない気がします。せっかく良いことをしているのに残念です。イベント周知する方法を再度、細かくチェックしてみたいと思います。
男性	40～49 歳	立派な箱なのに活用する人が少ないと思う。どんな使われ方をしてどのような盛り上がり方をしているか情報を発信したほうが良いと思う。イベント時にテレビ取材(生中継)するとか。岩手のテレビ局では週末の番組などでイベント会場から生中継してるのを良く見ます。それを参考にお出かけすることもあるので。
男性	40～49 歳	月末のホコテンの時など中心街の駐車場の無料解放や割引などを実施してほしい。中心街の駐車料金が高いことによりはっち等に行きにくい。子連れでも街に連れて来やすいようにベビールームを充実して欲しい(mamaro のような移設可能なベビールームを設置するなど)。
女性	40～49 歳	文化の高い街を目指していると思うが、施設のコンセプトや理想が高すぎて市民の意識と大きくかけ離れているのが原因では。公共施設という以上、誰もが納得して、広く市民が支持してくれるものを建てる必要があると思う。
男性	40～49 歳	都会に比べて専門的体験の機会や質が低いので、市が主導となって公共施設を積極的に開放し、専門家や著名人の招聘、各種講習会、体験会を開催し、若者達がスポーツ・勉学・芸術などに関して突き抜けた活躍ができるように手厚いサポートをしてほしい。

◆60歳～ (n=94)

性別	年齢	代表的・特徴的な意見・提案
女性	60～69歳	公共施設の利用を促進するには、やはり中心街の商業の活性化が必要と考えます。いくら公共施設に足を延ばしたとしても、それらは毎日や週に1回行くものではないと思います。しかし中心街でもっと買い物ができるようになると、特に以前の三春屋のような食品が充実しているような商業施設が中心街に復活すれば、そのついでにと公共施設に足を運ぶ回数は明らかに増えると思います。
女性	60～69歳	建てた以上はその施設の特徴をはっきりさせ、差別化を図り、活性化していかなければ、どの施設も似たような催しばかりで何の施設か区別出来ないような状態になりつつあります。
男性	60～69歳	他県の施設等と比べると、県内(八戸市を含めて)の施設は、相互連携の取り組みが不十分だと思う。連携した企画を立ち上げるまでもなく、美術館からはちやブックセンターへ誘導する案内があればいいと思う。それぞれが自分の施設についてだけでなく市内の各施設について広報して、「あるよ」だけでなく、そこまで行けるような道路案内も設けるなどして、八戸に来たついでにあちこちによって見るようにすることが、結果的に施設全体の利用価値を高めることになると思う。
男性	70～79歳	各施設のイベント情報などをもっともっと宣伝すべきと思います。各施設のコストだけを見るのではなく、その施設でやるイベントについての八戸市におちる経済効果なども、市民に知らせるべきと考える。それによってコストはかかるけれども経済効果も大きいんだという事で、市民も理解(納得)できると思う。
男性	60～69歳	歩道があまりにもひどく(狭いし、傾いている)施設に向かうのに子供や老人、障がい者に対する配慮が窺えない。
女性	60～69歳	現在やっていることは、ブックセンターにしても美術館にしても頭の良い人やマニアックな人が何かをやっていると言う感じがする。もっと一般のひとが行きやすい取り組みを考えて欲しい。

V 調査の総括

1. 調査の総括

本アンケート調査は、「はちのへ大型公共施設見える化シート」の掲載施設を対象として、施設利用に関する市民ニーズを把握し、各施設の有効利用に向けた具体的取組の検討において参考とするため、幅広く市民の意見等を集めることを目的として実施した。

調査の結果、概ね以下のような結果を得ることができた。

(1) 公共施設の満足度

公共施設のサービスや利用方法に対する満足度の平均は 63%であり、住民福祉の向上に一定の効果があると考えられる。一方で、「普段利用しないのでわからない」の回答が一定数あり、この中には、そもそも利用する必要がないと考えている層と、興味関心はあるものの利用しにくいと考えている層があると考えられるが、利用の仕方が分かりにくいなどの意見もあることから、施設の有効利用に向けては、特に後者の層に対して利用を促す工夫が必要と考えられる。

(2) 「見える化シート」の理解度

「見える化シート」を通した各施設における管理運営や取組状況の理解度は 74%であった。「見える化シート」が公共施設の有効利用について考えるきっかけづくりに寄与できたと考えられることから、引き続き市民との情報共有を図っていくことが重要である。

(3) 市民サービスとコストのバランス

市民サービス(便益)と施設運営費(コスト)のバランスに関する考え方については、88%の方が市民サービスの充実とコスト削減の両立、もしくは、より一層の市民サービスの充実を望んでいることから、引き続き維持管理コストの適正化を図りながら、サービス水準の維持・向上に努める必要がある。

(4) イベント情報の入手方法

公共施設の利用方法やイベント情報等の入手方法については、広報はちのへ、新聞、市ホームページが主な手段であるが、年代によって傾向が大きく異なることから、ターゲットに適した手段・媒体で情報発信を行うなど、効果的な情報発信手法について意識することが重要である。

(5) 有効利用に向けた意見・提案

公共施設の有効利用に向けた自由記述では、施設の利用に関する意見(情報発信の強化、利便性の向上など)や、運営に関する意見(イベント・展示内容の充実・見直し、利用料金・管理運営方法の見直しなど)、設備に関する意見(飲食スペースの充実、子どもが楽しめる環境づくり、老朽化設備の改修など)、周辺環境に関する意見(駐車場や周辺道路、交通アクセスの改善など)など、本資料に掲載した意見以外にも、幅広い観点から有意義な意見・提案が数多く挙げられた。今後、各施設において有効利用に向けた具体的取組を検討するにあたり、参考とすることができる結果となった。

2. 有効利用に向けた検討の方向性

(1) “市民ニーズ”に沿った施設運営

本アンケート結果を各施設と共有しながら、市民のニーズや期待に応え、施設の意義を実感できるような具体的取組について検討し、可能な部分から見直しを進めていく。

～取組イメージ～

- ・ 選書の見直しや、親子連れ・子ども向け企画の実施(ブックセンター)
- ・ 新しいかたちの美術館のコンセプト浸透と、展覧会等の充実(美術館)
- ・ 恒例となるような大規模イベントの誘致(YSアリーナ八戸)
- ・ 展示リニューアルや施設設備の改修(博物館、図書館)

(2) “理解と共感”を得るわかりやすい情報発信

施設の利用方法やイベント情報などさらなる情報発信を求める声が多いことや、「普段利用しないのでわからない」の回答が一定数あり、興味関心はあるが利用しにくいと考えている層に対して利用を促す工夫が必要であることから、市民の理解と共感を得られるよう、広くわかりやすい情報発信に努めていく。

～取組イメージ～

- ・ AIを活用したイベント情報集約サイトの構築によるイベント情報の一元化
- ・ リニューアルした八戸市公式LINEとイベント情報集約サイトの連携による配信機能の強化

(3) “施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

各施設における取組の充実に加えて、デジタル技術を活かした施設間連携の取組や、中心市街地活性化の取組と連携したデータ分析に基づく効果的なイベントの実施など、施設間や事業間の連携により相乗効果の最大化を図っていく。

～取組イメージ～

- ・ AIカメラの人流データを活用した中心街イベントの効果分析
- ・ はちのへポイントのアプリ化と、駐車場割引システムとの連携による中心街への誘客推進

(4) “公民連携”による公共施設の有効活用

維持管理コストの適正化に努めながら、更なる市民サービスの向上を図るためには、指定管理者制度への移行に加えて、民間提案の募集など企画段階からの民間事業者との連携が有効と考えられることから、多様な公民連携手法について研究していく。

～取組イメージ～

- ・ トライアル・サウンディングの実施(民間事業者等が社会実験的にカフェスペースを設置するなど、施設の暫定利用を通じて事業化につなげる公民連携手法)
- ・ 指定管理者制度への移行等による市民サービスの向上とコスト削減

※上記の取組イメージはあくまでも検討途中であり、今後、関係機関と調整していく中で、取組内容の充実や精緻化を図っていくものである。

公共施設の有効利用に関するアンケート ご協力をお願い

八戸市では、主要な大型公共施設の運営費や取組の状況、施設ごとに有する特性など、様々な角度からの情報について市民の皆さんにわかりやすくお伝えし、各施設への理解を深めていただく観点から、「はちのへ大型公共施設見える化シート」を作成したところです。

この「見える化シート」を活用して、施設の更なる利用促進や利便性向上に向けてどのような取組を行うのがよいか、市民の皆さんと一緒に考えていくため、このたび公共施設の有効利用に関するアンケート調査を実施することといたしました。

ご回答の内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございませんので、ご協力のほどよろしくご願ひいたします。

- ◆本アンケートにおける公共施設とは、「はちのへ大型公共施設見える化シート」の対象10施設のうち、総合的な行政機関である八戸市庁と八戸市総合保健センターを除いた、以下の8施設とします。

①八戸ブックセンター、②八戸市美術館、③八戸ポータルミュージアム(はっち)、
④八戸まちなか広場(マチニワ)、⑤八戸市長根屋内スケート場(YSアリーナ八戸)、
⑥八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館、⑦八戸市立図書館、⑧八戸市博物館

☆アンケート回答の前に、「はちのへ大型公共施設見える化シート」をご覧ください。

見える化シートはこちらからも閲覧できます。

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/gyoseikanrika/gyozaiseikaikaku/fm/19384.html>



- ◆回答は、Web(パソコン、スマートフォン等)からアクセスしての入力にご協力をお願いします。なお、郵送による回答をご希望の方は、調査票に記入し、返信用封筒(切手不要)に入れてご返送ください。

回答(返送)期限:令和5年7月7日(金)

[回答フォームURL]

<https://apply.e-tumo.jp/city-hachinohe-aomori-u/offer/offerDetail/initDisplay?tempSeq=10024&accessFrom=>



- ◆調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

八戸市 総務部 行政管理課 財産活用グループ
〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1
TEL:0178-43-9231 FAX:0178-45-2077
E-mail:gyosei@city.hachinohe.aomori.jp

公共施設の有効利用に関するアンケート調査票

- 質問ごとに、あてはまる選択肢を1つ選んで を付けてください。
○ 自由記入欄には、それぞれ直接記入してください。

I あなた自身のことがらについてお聞きします

性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 回答しない
年齢	<input type="checkbox"/> 18～29歳	<input type="checkbox"/> 30～39歳	<input type="checkbox"/> 40～49歳	
	<input type="checkbox"/> 50～59歳	<input type="checkbox"/> 60～69歳	<input type="checkbox"/> 70～79歳	
	<input type="checkbox"/> 80歳以上			
世帯構成	<input type="checkbox"/> 単身		<input type="checkbox"/> 夫婦・パートナー	
	<input type="checkbox"/> 親子(小学生以下の家族有)		<input type="checkbox"/> 親子(小学生以下の家族無)	
八戸市にお住まいの年数	<input type="checkbox"/> 1年未満	<input type="checkbox"/> 1～4年	<input type="checkbox"/> 5～9年	<input type="checkbox"/> 10～19年
	<input type="checkbox"/> 20～29年	<input type="checkbox"/> 30年以上	<input type="checkbox"/> 市外在住	

II 公共施設の有効利用についてお聞きします

問1 次の公共施設について、サービスや利用方法に対する満足度を教えてください。

	A 十分に満足 している	B まあまあ満足 している	C あまり満足 していない	D ほとんど満足 していない	E 普段利用 しないので わからない
①ブックセンター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②美術館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③はっち	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④マチニワ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤YS アリーナ八戸	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥是川縄文館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦図書館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧博物館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問2 問1で「C:あまり満足していない」又は「D:ほとんど満足していない」と回答した施設がある場合、充実・改善してほしいサービスや利用方法など、施設利用に関するご意見等があれば、ご記入ください。

例) ・どのような利用方法や楽しみ方があるのか、もっとアピールしてほしい
 ・子どもが遊べるスペースやイベントを増やしてほしい
 ・設備を改修して快適な空間を提供してほしい など

	施設利用に関するご意見等 (問1でC又はDと回答した施設について、ご記入ください)
①ブックセンター	
②美術館	
③はっち	
④マチニフ	
⑤YS アリーナ八戸	
⑥是川縄文館	
⑦図書館	
⑧博物館	

問3 「はちのへ大型公共施設見える化シート」を通して、各施設における管理・運営の状況や、地域の活性化に向けた取組状況について、理解することができましたか？

- 十分に理解することができた
- まあまあ理解することができた
- あまり理解することができなかった
- ほとんど理解することができなかった
- 分からない 又は 判断できない

☆「はちのへ大型公共施設
見える化シート」はこちら。



問4 公共施設における取組や市民サービス(便益)と施設運営費(コスト)のバランスについて、どのように考えますか？

- 引き続き、市民サービスの充実とコスト削減の両立に努めるべきだ
- より一層、市民サービスの充実に努めるべきだ
(そのためには、ある程度のコスト増はやむを得ない)
- より一層、コスト削減に努めるべきだ
(そのためには、ある程度の市民サービスの縮小・廃止はやむを得ない)
- 分からない 又は 判断できない

問5 公共施設の利用方法やイベント情報等について、どのような方法で入手することが多いですか。(最大3つまで)

- 八戸市ホームページ、各施設のホームページ
- 八戸市公式 SNS (Twitter、Facebook、LINE、Instagram、YouTube)
- 広報はちのへ
- テレビ (dボタン広報含む)
- 新聞
- ラジオ
- ローカル情報誌
- その他 ()

問6 公共施設の有効利用(更なる利用促進や利便性向上)に向けてご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください。

(自由記入欄)

アンケートは以上となります。
ご協力くださいますと、誠にありがとうございました。